

# 科目区分：人文・社会科学科目

授業科目名	社会と歴史（日本の水産資源利用）				学期	曜日	校時
英語名	Society and History ( Fisheries Resource Use in Japan )						
担当 教員名	亀田 和彦	単位数	2単位	必修 選択	選択	前期	火曜日 2校時
授業のねらい・内容・方法							
日本における海洋生物資源利用を考えるには、「海」に関わることで形作られてきた人々の暮らし、社会、経済活動のありかただけでなく、資源と共存する仕組みを見る必要がある。この講義では、海と私たちの社会との関わりかた、海の生き物を経済利用するということ、「資源管理」という考え方の3点について概説し、受講生が海洋生物資源の適切な管理による共存について適切な意見を述べるができるようにする。							
テキスト、教材等							
テキストは指定しない。参考文献等は、適宜、紹介する。							
対象学生	成績評価の方法				教員研究室		
全学部	定期試験、レポート、学習態度、出席状況等を総合的に判断して評価する。						
授業計画							
<p>最初に、この授業に必要なオリエンテーションを行う。授業の要点は次の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1．海と私たちの社会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・航海（植民地経営、通商）</li> <li>・漁業（食料確保、地先水面管理）</li> <li>・地先管理と海洋制度</li> </ul> </li> <li>2．海の生き物を利用すること <ul style="list-style-type: none"> <li>・水産資源ということ</li> <li>・本来的に必要な「バランス」</li> </ul> </li> <li>3．資源管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの経済活動と再生可能資源</li> <li>・経済活動と人類社会の繁栄</li> <li>・減らさない努力、増やす努力、その責任</li> <li>・地球規模の課題</li> </ul> </li> </ol> <p>最後に、生物資源と人類の共存についてまとめて考えてみる。</p> <p>（予習・復習に関する指示） 予習・復習に資するために、授業内容を関係ある書物に触れる機会を作ります。 そのために、毎月1回の読書レポートの提出を求めます（詳細は授業中に指示する）。</p> <p>オフィスアワー（質問受付時間） 月曜日から金曜日までの午後3時から午後5時までに、上記の教員研究室にお越しください。ここに指定した時間帯以外でも、他に所要がない限り、ご来室いただければ対応いたします。</p>							